

# 文化財ニュース いわき

第 46 号

平成 6 年 12 月 16 日

財団法人いわき市教育文化事業団

福島県いわき市中央台県立いわき公園内

TEL 0246(29)0391

## 古代の陶工の村？ -五反田A遺跡-

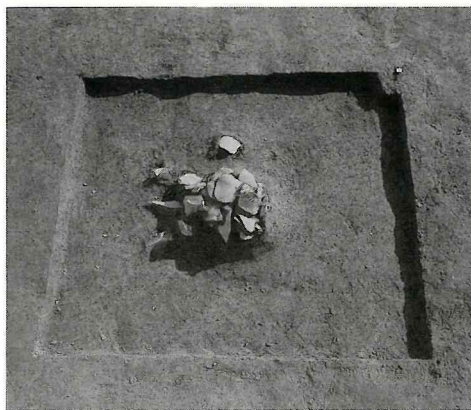
五反田A遺跡ごたんだえーいせきの発掘調査は、常磐自動車道じょうばんじどうしゃどうを好間から四倉まで延ばすための工事に伴って7月から行われています。

この遺跡からは、奈良時代の竪穴住居跡たてあなじゆうきよあとが5棟、掘立柱建物跡ほったてぼしらたてものあとが1棟、縄文時代の埋設土器まいせつどきや弥生時代の土器棺墓どきかんぼ、江戸時代の宅地跡などが発見されています。奈良時代の住居跡からは、東北地方で最も古い段階のロクロを使って作った土師器はじきが須恵器すえきと一緒に出土していて、須恵器工人すえきこうじん(須恵器を作っていた人)との関連が窺うかがえます。

五反田A遺跡の周辺にも多くの遺跡があつて、この地区が古代から連綿れんめんと人間の生活が営まれていたことがわかります。



五反田A遺跡北側調査区全景



石器集中地点

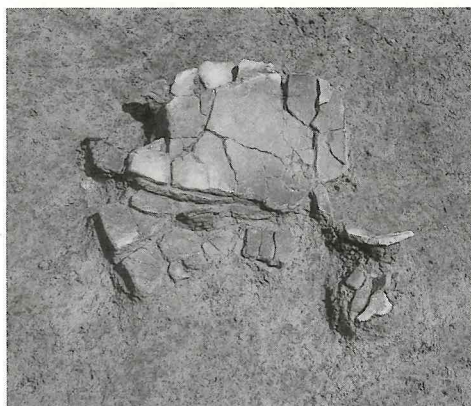
### 石器集中地点

遺跡の北側の沢から石器80点ほどが50×50cmの範囲にまとまって出土しました。頁岩と呼ばれる硬い石を割ったときに出るフレイク(剥片)がほとんどで、製品が数点あります。旧石器時代からの技法によって石が割られているのがわかります。

### 埋設土器

北側の沢の中央から検出されました。縄文土器を縦に3枚に割り、内側を上に向けて重ねた特殊なものです。

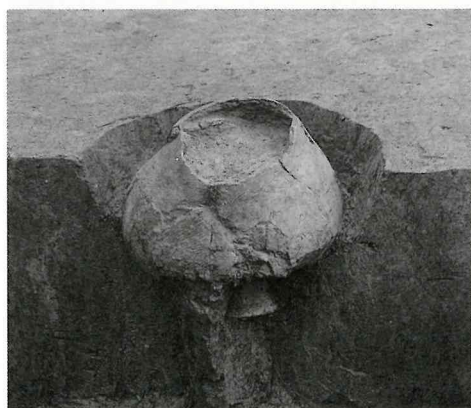
普通埋設土器は直立の状態です。埋められますから、かなり特殊なものといえます。土器の年代は、縄文前期(約5,000~6,000年前)です。



埋設土器

### 土器棺墓

北側斜面から検出されました。壺をさかさまにして、幼児あるいは小児のお棺としたものです。弥生時代中期後半に多く見られる葬法で、壺だけでなく甕に壺を載せたもの、甕2個を合せ口にしたものなどがあります。市内の遺跡からも1基から数基単位でときどき発見されます。土器の中からは何も出て来ませんでした。



土器棺墓

## 竪穴住居跡

竪穴住居跡は6棟が見つかりま  
す。これらの住居の床面や周囲の溝か  
らは甕や杯などたくさんの土器がま  
まになって出土しました。これらのなか  
には、古い作り方をした土器とロクロ  
という新しい技術で作った土器がいっ  
しょに見つかり、技術の移り変わ  
りを知る上で重要な資料となりました。

## 土 坑

土坑は16基が見つかりました。長  
方形をした第1号土坑からは、長頸瓶と  
2枚の土師器杯が重なって出土しま  
した。この長頸瓶は会津の大戸窯で焼  
かれて、いわきに運ばれてきたもの  
です。

その他トイレの跡と考えられる土坑  
もあり、寄生虫の卵などを見つける  
ために、中の土の採取もしています。

## 近世屋敷跡

南側の平坦な部分からは、江戸時代  
の建物の柱の跡がたくさん見つかり  
ました。この柱を線で結んでみると、3  
棟の建物が建っていたことがわか  
ります。周囲には排水のために溝が  
掘られており、この溝からは、この  
当時の焼き物がたくさん見つかり  
ています。



第5号竪穴住居跡遺物出土状況



第1号土坑遺物出土状況



江戸時代の建物跡（調査前）

文化財調査情報

今何かがわかる・今何かがかわる

あつめじょうりいせき ぐんぶもつかん  
❖荒田目条里遺跡 この遺跡は、人面土器・絵馬・郡符木簡等貴重な遺物の出土で全国的な話題となりました。他の木簡についても引き続き整理研究でしたが、この程ようやく内容がまとまりました。この結果、日本の古代史に新たな話題を提供するような、重要な郡符木簡の存在が明らかになりつつあります。資料整理の上、近く公表できるよう準備が進められています。

すがたじいせき  
❖菅俣B遺跡 前号でもこの遺跡は紹介しましたが、ここから出土した遺物の中に、貝殻の中に入っていた漆のうしあることがわかりました。貝殻自体は残っていませんでしたが、貝殻に漆を入れて使用した例は江戸時代にもあります。この資料は、時代が大幅におおぼさかのばに遡る可能性もあり、慎重に検討中です。

なかだよこな  
❖中田横穴 国指定史跡となっているこの横穴からは、全国的に1～2を争う量のふくそうひんが出土していることは、市史別巻「中田装飾横穴」で報告されています。このうち丸玉についてX線写真を撮影した結果、今まで鉛ガラスと考えられた玉の内3点は、アルカリガラス製であることが判明しました。なお、他の中小型のガラス玉は、すべてアルカリガラス製でした。

❖タタラ山館跡 常磐自動車道延伸関連で、県文化センター遺跡調査課が調査しましたが、いわき市内では初めてのすえきかまあと良好な須恵器窯跡が、3基検出されました。隣接地は来年度引き続き調査するという事です。

❖クジラ骨格標本 数年前豊間の海岸にうちあげられたクジラの骨格標本がこのほど収集されました。種類はアカボウクジラと思われませんが、今後くわしく調査することになると思われます。



新刊 案内 「上ノ内遺跡」・縄文時代から平安時代の貝塚・集落跡の調査報告書  
案内 「小茶田遺跡」・民間工場建設に伴う古代住居跡等の調査報告書

とじておきましょう。